

第3回広帯域極限電磁波生命理工連携研究会
「イメージングとその周辺技術の生命医科学への応用」
9月6日(火) 13:00～ オンライン

神戸大学分子フォトサイエンス研究センター、福井大学遠赤外領域開発研究センター、徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所、神戸大学バイオシグナル総合研究センターの4研究施設は、マイクロ波から紫外におよぶ帯域の新規な光源と先端的計測手法の開発、それを用いた様々な分野での応用研究について連携活動を行っています。今回は、種々のイメージング技術の生命医学応用ということで、表題の研究テーマの関連分野の最先端でご活躍の研究者の方をお招きし、最新の研究成果を紹介していただくとともに、今後の展開について議論します。参加希望の方は、下記、問い合わせ先までご連絡下さい。

13:00～13:05 はじめに 富永 圭介(神戸大学分子フォトサイエンス研究センター)

13:05～13:35 的場 修(神戸大学次世代光散乱イメージング科学研究センター)

「光と伝搬計算を融合させたマルチモーダル3次元イメージングとそのバイオ応用」

13:35～14:05 門内 靖明(東京大学情報理工学研究所)

「テラヘルツ漏れ波トモグラフィに基づく非接触聴診」

14:05～14:35 辻田 和也(神戸大バイオシグナル総合研究センター)

「細胞膜のメカニクスとがん悪性化 -光ピンセットを用いた解析」

14:35～15:05 矢野 隆章(徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所)

「超解像ラマン・赤外顕微鏡の開発とナノ・バイオサイエンスへの応用」

15:05～15:15 休憩

15:15～15:45 平田 拓(北海道大学情報科学研究院)

「電子スピんで可視化する悪性腫瘍の微小環境と計測技術」

15:45～16:15 市川 和洋(長崎国際大学薬学部)

「生体代謝のリアルタイムイメージング技術開発と疾患分析への応用」

16:15～16:45 紀和 利彦(岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科)

「テラヘルツ病理学の創生へ向けた取り組み」

おわりに 谷正彦(福井大遠赤外領域開発研究センター)

[問い合わせ先] 大久保晋、太田薫
神戸大学分子フォトサイエンス研究センター
mprc-joint@research.kobe-u.ac.jp